

岡山から日本を元気にするフリーペーパー

FREE 岡山ムーブアップ
vol.24
FEB 2017

今年もたくさんのパーティーを皆さんへ

OKAYAMA MOVE UP



SPECIAL FRONT INTERVIEW

DANCE EARTH PARTY

SPECIAL INTERVIEW-2-

Happiness

SAYAKA / MIYUU / 川本瑠

SPECIAL INTERVIEW-3-

TOKURA

(フリースタイルフットボーラー)

SPECIAL PHOTO REPORT

JAPAN MOVE UP special edition vol.10 & 11

11.24 青柳翔、錦織良成 / 11.25 EXILE THE SECOND 桶ケンチ、黒木啓司、EXILE NESMITH

SPECIAL COLUMN

EXILE TETSUYA

*Special
interview* **DANCE
EARTH
PARTY**

EXILE ÜSA EXILE TETSUYA Dream Shizuka

待望の1stアルバム『I』をリリース！

EXILE ÜSAのプロジェクトDANCE EARTHから生まれたDANCE EARTH PARTYは、EXILE ÜSA、EXILE TETSUYA、Dream Shizukaからなる音楽ユニット。これまで多彩なゲストとともにシングルを発表してきたが、2月1日待望の1stアルバム『I（ワン）』をリリース。国内外の有名アーティストが多数参加した同アルバムについて、メンバーが曲の誕生秘話など、ここでしか聞けないトークを展開する。





『I』、これからも続く旅の始まり

これまでに5枚のシングルをリリースしてきたDANCE EARTH PARTYが、待望の1stアルバムを発売。

ÜSA (以下、**Ü**) 「DANCE EARTH PARTYのコンセプトが世界のいろいろな音楽や文化、ダンスを取り入れて、聞いた人が世界を旅しているような感覚になるというところを目指しているので、今回は“音楽の旅”という事をテーマにアルバムを制作しました。アフリカからブラジルから、本当にいろいろな国の要素が入ったアルバムになっていますので、きっとみなさんに楽しんでいただけたと思います」

Shizuka (以下、**S**) 「ここまで色とりどりの楽曲が集まったのも、DANCE EARTH PARTYだからこそだと思います。何でも表現できるというグループの良さが、

この楽曲のバリエーションに表れていると思います。私自身は、ボーカルとしていろいろな方をお迎えして、また自分も幅広い楽曲を歌わせていただいているので、“音楽の旅”を自分自身も歌で楽しんでいます。これを聞いてもらった時に、皆さんがどんな反応をするのか、すごくワクワクが詰まった作品になりました」

TETSUYA (以下、**T**) 「非常に豪華な仕上がりになったと思います。メンツを見ていただいたら分かると思いますが、海外のアーティスト、国内のラッパー、そしてたくさんのシンガーや演奏者など、本当に一流の方々が参加して下さいました。そんなすごい方たちが、このアルバムで音楽の旅のパーティーとして一緒に旅をして下さり、一生の思い出に残る1枚になりました」

た」

アルバムのタイトルは『I (ワン)』。そこに込めた意味は。

Ü 「僕らの旅の一発目ということで、『I』にしたんですけど、DANCE EARTH PARTYというアーティスト名自体が“ダンスでアースをハッピーに”というコンセプトになっているので、アルバムタイトルはシンプルなものがいいんじゃないかと。長い名前とかいろいろな候補は出たんですが、結局I、II、IIIと続いていけたらという思いも込めて『I』になりました。今後も僕らの旅は続いていくよという意志の表明でもあります」

アルバムのリード曲『Do it!』はShizukaが作詞を担当。

S 「岡田マリアさんと共作で歌詞を書かせ

ていただきました。このアルバムを作るにあたり、アルバムタイトルが『I』ということもありますし、このアルバムはこれまでの活動の集大成であり、スタートでもあるなど。そのリードとなる曲なので、何かが変わる瞬間を分かりやすく春に例えて、作詞をしました。自分もDANCE EARTH PARTYをはじめ、さまざまな活動をさせていただく中で、いろいろ感じる事も多く、等身大の自分に戻った時、決して毎日ハッピーばかりじゃなくて、落ち込むこともあるなって思ったんです。でも落ち込んでいても、何で私は笑っているんだろうって思った時に、諦めたくない気持ちや、もっと新たな世界を見たいという思いがあるからだということに気づき、そんな事もメッセージとして込めさせていただきました」

た」

T「素晴らしい歌詞です。このアルバムのリード曲ってということもあり、より間口を広く、いろいろな方に聞いて、共感してもらえる曲を探していたんですけど、僕らの、そして聞いてくれる方のスタートを表現した歌詞がすごくいい。去年のフェスで歌手としての成長も感じたんですけど、作詞家としても素敵な歌詞を書いてくれたなと思いました。本心です(笑)」

S「照れますね(笑)」

そういう TETSUYA も初の作詞に挑戦している。

T「初めての経験だったので、自分の中ではむずがゆいというか、出来上がった時は、少し恥ずかしくなったんですけど(笑)。もともと DANCE EARTH PARTY で、バースデイソングを作りたいという話があって、僕は誕生日じゃない日でもおめでとうって言えるような、そんなおめでとうソングがいいなってずっと思っていたんです。去年そんな事を考えていた頃、ちょうど USA さんの誕生日があって、Shizuka ちゃんと僕でサプライズパーティーを企てたんですね。それで、USA さんをお祝したんですけど、その時のパーティーの様子がなんか頭の中に残っていて。その時に経験した事、たくさんの仲間が集まってワイワイ飲んで踊って騒いだ楽しかった思い出を歌詞の中に入れ込んだんです。そんな素人の僕が書いた歌詞を、Dream

の3人がとっても素敵に歌ってくれたので、本当に感謝しています。1回 Shizuka ちゃんに見せた時は“ここはどうやって歌うんですか？この譜割りはどうなっているんですか？”って指摘されてしまいました(笑)」

S「伝えたい想いが溢れすぎていて(笑)」

T「入らないですって言ってたよね(笑)。でもそう

やっていろいろ相談して、すごく助けてもらいながら完成しました」

Ü「そのパーティーなんだけど、申し訳ないことに、前日飲み過ぎて二日酔いだったから、次に行こうって言われた時に、ちょっと今日は帰りたいって言っちゃったんだよね(笑)。でもみんなが熱心に誘ってくれて、行ってみたら最終的には“帰りたくない”って言ってた(笑)」

T「言っていましたね(笑)。その“帰りたくない”っていうワードだけはものすごい頭に入っていて、それはしっかり歌詞に入っているんで、それを踏まえて聞いていただくと、非常に味わい深いかも知れません(笑)」

選曲、曲順も3人で意見を出し合った。

S「選曲はすんなりいったけど、曲順はいろいろありましたよね(笑)」

Ü「そういえばあったね(笑)。今回のアルバムは『Slow Morning』と『夜曲～ノクターン～』という2つのバラードがあって、それぞれ朝と夜の曲なんです。で、もともとその前の曲が『PREMIUM TEQUILA feat. DOBERMAN INFINITY』という曲でテキーラなので、その流れで夜の曲『夜曲～ノクターン～』にあって、そのまま寝て、朝を迎える『Slow Morning』っていう流れがいいよねっていう話をしていたんです。そうしたら Shizuka ちゃんが“テキーラの次は絶対朝ですね”って



(笑)。すごくこだわりが強かった(笑)。なので、自分の中では、テキーラを飲んで寝ちゃったんだ。それで朝を迎えたんだってストーリーを修正して納得しました(笑)」

S「なぜかそのバラードの件は譲りませんでした(笑)。自分の中で逆はなかったんです。バラードが挟ま

ることで、次の曲が仕切り直しじゃないですけど、バラードはバラードで別世界というか、別軸で考えていたので、夜の『夜曲～ノクターン～』がきて、朝の『Slow Morning』はないなと。逆のほうがいいですと言わせていただきました(笑)。でもそれ以外は全部一緒でしたよね」

Ü「そうだね」

そして今回の衣装は黄色がイメージカラーだ。

T「もう、ハッピーと言えば黄色でしょ、みたいな」

Ü「そしてラッキーカラーね。誰のっていうわけじゃないけど(笑)。幸せの黄色いハンカチじゃないですけど、幸せを呼び込む色という意味で」

T「バツと目を引く色だし、すごくインパクトがあっていいなと思います。着ただけで元気になるし、踊りたくなる」

Ü「一番最初に DANCE EARTH PARTY としてみんなで撮った写真が白だったんです。それからいろいろな世界の音楽を試しながら、今回は黄色に染まっているという感じですね。今後は、赤なのか、緑なのか、ブルーなのか…、他の色に染まっているかもしれない。でもそれもまた楽しみですよね」

S「E-girls は割とカラフルな衣装が多いんですけど、黄色一色は今までなかったかな…。でも着てみたら元気が出ていいなと思いました」

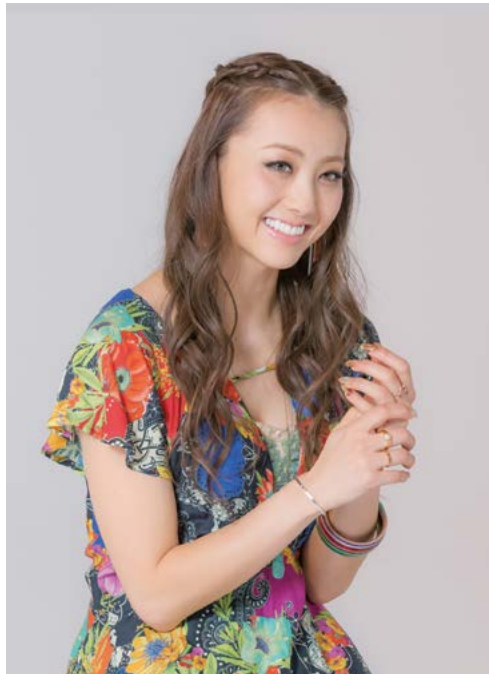
1st アルバムもリリースされ、今後

の活躍が楽しみな DANCE EARTH PARTY。これからどんな旅をしていくのか。

Ü「今までためてきた思いなんか、やっとひとつにまとまって、アウトプットすることができたので、これを持ってファンみなさんと直接会えるようなイベントをどんどん作っていきたいですね。この曲とともに、みんなが参加できるようなフェスだったり、お祭りだったりを企画していきたい。踊ってみようっていう場があるのは素敵だなと思うので、そういう機会を作りたいと思います」

T「なかなか日常で踊ろうと思う瞬間ってないと思うので、そういう場面やきっかけを、DANCE EARTH PARTY で増やしていけたら」

Ü「昨年第1回目の『DANCE EARTH FESTIVAL 2016』をやって無事成功したので、それをもっとみんなを巻き込めるようなハッピーな場所に膨らましていければ。年に1回はみんなで空の下集まって、歌って踊って過ごせれば、楽しいと思いませんか？ そういうイベントを続けていきたいなと思います。また、去年だけでなくなくなってしまったお祭りが60個ぐらいあるとう話を聞いたんです。やはり人口が減ったりとか、後継者がいなくなったりとか、地方ではそういう問題がある。そういう素敵なのになくなってしまいそうなお祭りとかともコラボして、地方を盛り上げたりできれば最高だなと思います」





Messages to Okayama fans



岡山ファンにメッセージを。

T 「約3年の構想を経て、ものすごく豪華なアーティストとコラボレーションしたアルバムができたので、岡山の方にもぜひ聞いていただきたいです。また『I』というからには、次の旅『II』に向けての旅支度もしなければいけないと思っていますし、岡山の方には、これからも僕ら3人の活動を見守っていただけたらうれしいですね。岡山の祭りともいつかコラボできたらいいなと思います」

S 「岡山の皆さんはいつも本当に温かくて元気いっぱいなので、またお会いして笑顔の交換ができればいいなと思います。このアルバムには3人の想いがいっぱい詰まっています。それをみなさんに感じていただけたらうれしいです。そしてまた、いつの日かその想いを一緒に体感しながら楽しめるような場所で会えることを願っています」

U 「“ダンスでアースをハッピーに”というテーマでこのアルバムを制作したんです

けど、まずは世界の前に日本を、そして岡山をハッピーにしたい。ということで、今年はぜひみなさんと一緒に岡山で踊りたいと思います。その日を楽しみにしていますので、待っていて下さい。また、うらじゃ祭にもいつの日か参加しますので、その時は踊りを教えて下さい」



PRESENT DANCE EARTH PARTYから
読者2名にサイン色紙をプレゼント!
応募・詳細は00面にて。

DANCE EARTH PARTY First Album『I』

DANCE EARTH PARTY 待望のファーストアルバム。LIVE DVDとして「DANCE EARTH FESTIVAL '16」を収録。国内外から豪華ゲストが参加した「HAPPY!」なアルバムに仕上がった。

参加アーティスト…EXILE THE SECOND、小林直己、今市隆二、関口メンディー、VERBAL (m-flo / PKCZ®)、DOBERMAN INFINITY、Dream、Crystal Kay、Happiness、RHYMESTER (Mummy-D)、Afrojack、The Skatalites、DRUM TAO、banvox、U-zhaan

RZCD-86274/B～C AL+DVD2枚組 (スマブラ対応) 5500円 (税抜)
RZCD-86275/B～C AL+Blu-ray Disc2枚組 (スマブラ対応) 6500円 (税抜)
RZCD-86276 AL (スマブラ対応) 3000円 (税抜)

DANCE EARTH FESTIVAL 2017 10月開催決定!! 千葉 幕張海浜公園 Gブロック

“ダンスでアースをハッピーに。”

ピースフルな空気に包まれ、大好評だった昨年に続き、今年も秋、幕張海浜公園で「DANCE EARTH FESTIVAL 2017」開催決定。時代を超えた世界中のダンスと音楽が集まるワールド・ダンス・フェスティバル!! 国境、言語を越えて、オトコもオンナも、コドモもオトナもみんな集まってハッピーな1日を楽しもう!!



<http://www.danceearthfestival.com/>

Q.10 枚目のシングル「REWIND」とはどのような楽曲なのでしょうか？

川本璃 ——

「REWIND」は Happiness のアプローチとしてロック調にも挑戦させていただいたり、Happiness ならではのラップと歌の掛け合いにも是非注目して聞いていただきたいと思うんですけど、今回はいつも以上に大人な歌詞だったり、結構刺激的なワードが多いのでそういった部分でも少し大人な Happiness を感じていただきたいなと思います。

Q. 今回も MIYUU さんが振り付けを担当されたということですが、振り付けをされる際に意識していることはありますか？

MIYUU ——

Holiday から振り付けだけでなく MV の構成だったりカメラの撮り方だったりを考えさせていただいて、その中で Happiness の一人一人のカラーが違うのでそのカラーを壊さないでどう活かされるのか。ボーカルだったりパフォーマーだったり各々が目立つようなポイントを必ず作るようにしているので、よりファンの皆さんに一人一人の顔を見てもらえるような MV が多かったのかなと思います。Holiday からずっと同じ監督さんなんですけど、監督さんとメンバーとの意見がマッチしてより良いものが出来ていると思います。

ているんですけど、警棒の使い方が結構難しく、どうやったらセクシーさだったり大人っぽく見せられるのか撮影中に考えながらやらせていただきましたので是非注目してください。

SAYAKA ——

この楽曲は璃から始まるので、璃がメインと言っても過言ではないです、今までの MV を見ていただくと璃の成長ぶりに凄い感激します。だから今回の撮影の時も「璃、どうした!? 凄いな!!」ってメンバーで驚いてました (笑)

Q. 「REWIND」の MV で何か新しく挑戦したことはありましたか？

MIYUU ——

今までの MV では笑っている表情とかにぎやかなイメージがあったんですけど、今回はオール“ツン”です、デレはないです。Happiness は“ツン”のあとに“デレ”があるのが裏テーマだったんですけど (笑)。笑っている表情がほぼなくて、メンバーでもこんな表情するんだ、みたいな。特に YURINO なんですけど、YURINO あんな感じになるんだと思いました (笑)



だいて Happiness は女優やモデルしているメンバーだったりとかいて、やっぱり全部が分身のようにいずれは帰ってくるファミリー感を感じています。無くてはならない存在ですね。

SAYAKA ——

Happiness は自分の夢のような存在です。E-girls は色々な夢を叶えさせていただけるところではあるんですけど、Happiness はあれもこれもやりたいと色々欲がちゃうグループでもあるので色々な夢を実現できたらなと思います。

川本璃 ——

人生を変えてくれた場所です。私は途中で加入させていただいたんですけど、それもひとつ夢を叶えさせていただいた場所でもあるので、後にも先にもそういった場所ですね。

Q. 今後の Happiness の夢を教えてください。

川本璃 ——

Happiness は歌とラップの掛け合いがあって 5 人のパフォーマー

SPECIAL INTERVIEW

Happiness

川本 璃 / SAYAKA / MIYUU

Q. MV の見所を教えてください。

SAYAKA ——

今回はいつもよりもちょっと背伸びをしたセクシーさだったり MIYUU が振り付けしてくれたので当然振り付けも見所の一つですが、それこそ一人一人が目立つポイントが沢山あって椅子に座っているシーンとかボーカルのリップの見せ所があったりとかで、ここです！って言い切れないのですが、いつもとは違った一面を感じていただけたと思います。

Q. MV の中でメンバーのみなさんがお気に入りのシーンとか注目してほしいポイントはどこでしょうか？



MIYUU ——

私は振り付けもさせていただいたので全体的に好きなんですけど、特に車のシーンです。想像より凄いセットのクオリティで、車にある Happiness のロゴも大きく出ていてチームの一体感じゃないですけど伝わるかなと思います。

SAYAKA ——

自分の好きなジャンルが女性らしいものだったりするので、そこをうまく Happiness の MV にも取り入れるようにしているんですけど、今回の自分のソロはすごい攻めたものにしたので自分的にもお気に入り、是非注目して欲しいなと思います。

川本璃 ——

ボーカル二人で車の上で警棒を持ってリップをさせていただ

Q. 昨年は 2nd アルバム発売、初の単独ツアーなど Happiness の皆さんにとって、どんな 1 年だったのでしょうか？

SAYAKA ——

去年は E-girls のライブで始まり、HIGH & LOW ライブにも出させていただいたり、その後 Happiness のライブで終わったという一年だったので本当にライブの一年だったなと思います。Happiness 単独ツアーでもファンの皆さんだったり初めて出会うスタッフさんだったり色々な方と出会う事ができました。皆さんの支えで自分たちの夢も叶えられているんだなと感じることができた一年でした。

川本璃 ——

去年は今まで一番一年が過ぎるのが早く感じられました。単独ツアーだったり、7 人での初めてのアルバムを出させていただいたり、Happiness としてたくさん夢を叶えさせていただいた一年でした。

MIYUU ——

もう一言で“念願”ですね。4 年ぶりにこのメンバーでアルバムを出させていただいたり、初めての単独ツアーをさせて頂いたり幸せな出来事が続いたので、でもまたここからがスタートだなと身が引き締まりました。責任感も出てきましたし、幸せな事だけじゃなく、これから大変なこともあるんだろうなって感じています。

Q. 三人にとって Happiness とは、どんな場所なんでしょうか？

MIYUU ——

私は初代のメンバーでもあるので、そういった意味でも家族以上の存在です。帰る場所というか、E-girls でも活動させていた



がいるのももっともっと強化して今までに無いガールズグループになっていきたいですね。

SAYAKA ——
今年の始めに初めての単独ツアーのファイナルも迎えて、やっぱり Happiness はライブアーティストになりたいと強く感じました。ファンの皆さん参加型の楽曲も多いので皆さんとの楽しい時間をもっと作りたいという意味でもそう感じています。今回は Zepp でそれを表現して、いつかはアリーナとかでもそれを表現できたらいいと思います。

MIYUU ——
女性が女性に憧れる像を“ガールクラッシュ”っていうんですけど、最終的にはそういった存在になりたいですね。パフォーマンスや楽曲もそうなんですけど、ファッションだったり、メイクだったり女の子が好きな流行や最先端を Happiness が作っている存在になりたいですし、Happiness でしかできないこ

とを追求して皆さんに楽しんでもらえるようなパフォーマンスや楽曲を提供したいなと思います。

Q. 岡山に関する思い出や印象はありますか？

MIYUU ——
Holiday のリライブで来させていただいたときに皆さんとても明るくて、印象も良くてとても嬉しかったです。
川本璃 ——
今回来させていただいた際に告知してないのに皆さん会いに来てくださって凄く嬉しかったです。



SAYAKA ——
地元の宮崎のように皆さんゆっつりの印象で私もなんだか落ち着きますね。

Q. 最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします。

MIYUU ——
まだリライブだけなので、次は Happiness の7人で岡山でライブしたいと思うのでその時は是非遊びに来て下さい。

SAYAKA ——
Happiness は今年で6周年に入るのですが、岡山はライブでまだ来ていないのもっと皆さんと Happiness な時間を過ごせるように頑張っていきたいと思います。

川本璃 ——
岡山にはなかなか来させていざう事が少ないのですが、私たちの音楽やパフォーマンスをたくさん見ていただいて身近に感じていただけたらと思います。



過ぎ去った時間を巻き戻す、
Happiness 10枚目の
SG「REWIND」2/8 リリース!



【CD+DVD】RZCD-86241/B 1800円+税
Disk-1:CD 1.REWIND 2.We like it! 3.REWIND (Instrumental) 4.We like it! (Instrumental)
Disk-2:DVD REWIND (Music Video)
////////////////////////////////////
【CD ONLY】RZCD-86242 1000円+税
1.REWIND 2.We like it! 3.REWIND (Instrumental) 4.We like it! (Instrumental)
////////////////////////////////////

PRESENT Happinessから
サイン色紙をプレゼント!

今回インタビューにご登場いただいたHappinessの
3人から読者3名様に直筆サイン色紙をプレゼント!
応募・詳細は26面を今すぐチェック!

AOYAGI SHO
NISHIKOORI YOSHINARI



Photo
JAPAN MOVE UP
special edition
ラジオ公開



d a 2
イオンモール
未来ス



11.24 SPECIAL GUEST
青柳 翔 / 錦織 良成
(劇団EXILE) (映画『たたら侍』監督・脚本)



JAPAN MOVE UP
日本を元気に
「日本を元気に!」をテーマに、毎回各界の
方が思わず元気になれるトーク海戦で、奥

<http://www.jfn.co.jp/moveup>



OKAYAMA MOVE UPによる「JAPAN MOVE UP」
昨年11月24日、25日、イオンモール岡山内の
24日の公開収録では、2017年5月20日全国公開が決まった映画『たたら侍』の
ステージ横に用意された、たたら侍への特大メッセージパネルが
続く25日は、EXILE THE SECONDの橋ケンサクが
ゲスト登場前からOKAYAMA MOVE UPのキッズダンサーが登場、『YEAH!』の
さらに番組中盤『WILD WILD WILD』の楽曲がかかると会場の
会場からの勢いにメンバーもステージを降りてダンス&生

report MOVE UP

on vol.10 & 11

公開収録

2 vs

ル岡山 1F
クエア



supported by TOKYO HEADLINE

に!! TOKYO FM (80.0MHz)
毎週土曜日 21:30~21:55

著名人をゲストにお招きし、元気になるためのトークをしています。リスナーの
声で絶賛放送中です。

oveup/ 今回の収録の様子は、Podcastにて
ノーカット版 配信中!!

「MOVE UP —SPECIAL EDITION—」が

『未来スクエア』にて公開収録を行いました。

『さら侍』より、青柳翔と錦織良成監督をゲストに迎え映画についてトーク。

ファンレターを発見するとメッセージの多さに驚く場面もありました。

橘ケンチ、黒木啓司、NESMITHをゲストに迎えました。

『YEAH!! YEAH!!』の楽曲に合わせてダンスで会場を多めに盛り上げました。

お客様から振り付けダンスのサプライズをメンバーに贈りました。

『YEAH!! YEAH!!』の楽曲を披露。未来スクエアはまさにライブ会場となりました。



TACHIBANA KENCHI
KUROKI KEIJI
EXILE NESMITH



11.25

SPECIAL GUEST

EXILE THE SECOND

橘ケンチ / 黒木啓司 / EXILE NESMITH



THA

OKAYAMA

2016.11.
JAPAN MOVE UP spe





NKS!

MOVE UP !!

.24 |TH| & 25 |FRI|
Special edition 2 DAYS



徳田 耕太郎

TOKURA

フリースタイルフットボーラー

圧倒的なテクニックで観客を魅了するTOKURA。
日本人初の世界大会優勝という快挙を成し遂げた彼が、
フリースタイルフットボールとの出会いからご自身の
将来の夢まで、その想いを熱く語ってくれました。

—— 徳田さん（以下、TOKURA さん）がフリースタイルフットボールを始めたきっかけは何だったんでしょうか？

徳田 耕太郎（以下、T）：元々小学1年生の頃からずっとサッカーをやっていたんですけど、中学1年生のときに「NIKE フリースタイルフットボール」という雑誌を見つけて、それを見てすごくかっこいい技などが載っていて、自分もやってみたいなと思い、遊びで始めたのがきっかけでした。実はフリースタイルフットボールに興味を持ち始めていたとき、サッカーの試合中に頭を怪我してしまったんです。それで長距離の運動やサッカーができなくなってしまったんですけど、リフティングなら大丈夫と診断されたので、そこからサッカーを辞めてフリースタイルフットボールに専念するようになりました。

—— 自身のスキルが上がっていく中で、自分のフリースタイルフットボールを誰かにパフォーマンスとして見てもらいたいと思いはじめたのはいつ頃だったんでしょうか？

T：中学3年生とか高校1年生ぐらいの時でした。初めてフリースタイルフットボールをパフォーマンスしたのが高校2年生の文化祭だったんですけど、先輩たちがバンドをやったりしている中で、自分1人でステージに上がってパフォーマンスをしてみると想像以上に盛り上がり、その時に特別賞をもらったんですけど、その当時はまだフリースタイルフットボール自体があまり知られていなかったの、パフォーマンスしたら注目されるんだなというのが分かって、その時はボロボロだったんですけど、もっと上手くなってちゃんと魅せたいと思うようになりました。

PRESENT

TOKURAさんから読者3名様に
サイン色紙をプレゼント!

応募・詳細は26面にて



—— 高校3年生で初出場した大会はどうだったのでしょうか？

T: その当時出た大会が、当時も今も日本で一番大きな全国大会「Red Bull Street Style」という大会だったんですけど、日本全国から約100人ぐらいのエントリーがあって、東京、大阪、名古屋の各会場から上位5名の予選を勝ち抜いた15名と前大会優勝者の16名が決勝大会に進めるという大会でした。予選は5位という結果で決勝大会に進んで、決勝大会でいきなり優勝という結果でした。決勝大会の一回戦で、前大会世界2位になった選手と当たったんですけど、僕も隠し球を用意していたのでそれを披露して、ミスすることなくパフォーマンスできたので、なんとか勝つ事が出来ました。最初は優勝できたことが信じられなくて、メディアのインタビューも受けたりしていたんですけどそれもほとんど覚えて

なくて、家に帰ってからもテレビや新聞の取材が1週間に3件〜4件ぐらい入って、毎日のように学校に取材が来ていたという状況でした。そこでやっと、優勝した実感が湧いてきて、その後の世界大会の準備も始められました。

—— 大会初出場で初優勝、そのまま世界大会へと進まれた TOKURA さんですが、挫折したことはありませんか？

T: ちょうど南アフリカワールドカップの2ヶ月ぐらい前に開催された「Red Bull Street Style World Final 2010」という世界大会だったんですけど、全国大会で世界2位の選手に勝って世界大会に進めていたので、自分も世界チャンピオンになるつもりで出場したら、まさかの予選敗退。そこではじめて挫折しました。他の国の選手のレベルがすごく上がっていて、全然歯が立たなくて日本に帰ってきました。そこで今後を考えた時に、他にやりたいこともなかったの、練習してもう一度大会に出て前回よりは良い結果を残して、辞めるか続けるかを決めようと思っていました。その当時、大学生だったのでプロになることも

考えたんですけど、やっぱり世界チャンピオンにならないとプロでやっていくのも厳しいと思っていたので、大学4年間で世界チャンピオンになったらプロを考えるし、なれなかったら普通に就職しようと決めていました。ただ、決めたからにはものすごく練習しましたね。大学の授業が16時に終わったら、友達の誘いも断って、練習場所が使える20時ギリギリの時間まで毎日練習ということを常に続けていました。大会は2年ごとに開催されていたので、その2年後にある大会に向けて毎日ストイックに練習していました。

—— その2年後の「Red Bull Street Style World Final 2012」で世界チャンピオンになられたんですか？

T: そうですね。その大会の他にも、マレーシアであった招待制の大会だったり、世界大会の少し前にチェコであった大会に出場したりしていたんですけど、世界大会までは4位だったり決勝までは進めても優勝は出来なくて、必殺技も開発してたりしてたんですが勝てなくて。なんでだろうなと考えた時に、大きい技はあるけどその他の細かい要素が抜けて

いることに気付いて、次に控えていた Red Bull の大会までに細かい所まで仕上げていきました。細かい所まで練習した分、自信はついていたのでその結果が世界チャンピオンに繋がったんだと思います。

—— TOKURA クラッチが生まれたのはいつ頃だったんですか？また、なぜバク宙を取り入れようと思ったのですか？

T: 実は、あれができるようになったのが2010年で、世界チャンピオンになった大会の1年前だったんです。練習は2009年ぐらいからしていたんですけど、完成したのは2010年でした。決勝には進めてもやっぱり何かアレンジを加えないと、審査員も見慣れてきてしまうので。このままだと、決勝には進めても優勝は無理だなということに気付けたので、後は自分しかできないことを練習するだけでしたね。バク宙を取り入れようと思ったのは、他の選手がやっていないからというのもあったんですけど、難しいのはやっぱり必要だけど、それを追求していくと一般の人が理解できない領域にいていしまうんです。足の回転回数だったり、どっちの足でボールを

フリースタイルフットボールを かっこいいカルチャーに!!

蹴るとかで全然難易度は違うんです。けどそれは一般の人が見ると同じで、そういう細かいスキルも大切なんですけど、もっと一般の人に伝わる技をやらないとパフォーマンスしてもつまらなくなってしまうと考えていたので。バク宙や逆立ちを取り入れて、一般の人が見てもすごいと思ってもらえる技を取り入れて勝つことができたなら、一番良い形だと思いました。一般の人に伝わらないとパフォーマンスしている意味がなくなってしまうので、とにかく一般の人にも伝わる難しい技を作るという思いからできた技ですね。

—— 世界チャンピオンになれる以前から、先を見られていたというのがすごいですね。

T: 小さいイベントなどでもパフォーマンスはしていたので、どんな技が盛り上がり、この技はあまり盛り上がらないというのが分かっていました。難しいから必ずしも盛り上がるわけではなくて、逆に簡単な技でも盛り上がる技はありますね。色々な場所でパフォーマンスをしていたということが、バトルにも生きてきてましたし、やっぱり、最後に難しい技を持って来たほうがパフォーマンスも締まると

いうのも分かっていたので、そういう技が欲しくてバク宙を習得しました。

—— TOKURA さんが、今一番やりたいことを教えてください。

T: やっぱり、今もそうなんですけど色々なところに行ってパフォーマンスをさせていただく機会が多いので、もっと色々なところに行って、日本だけではなく色々な国に行って、パフォーマンスしていきたいなと思います。もうひとつ、まだ誰もやっていないものすごい技を考えて大会に出たいと思っています。

—— 今後の目標を教えてください。

T: もう25歳なので結構難しい部分もあるんですけど、1回優勝しているので、自分のスタイルだったり世界の人たちが見ていて、ジャッジも全部見られていますし、10年かかって世界チャンピオンになれて、もう1回世界チャンピオンになるっていうのは単純に考えてもう10年練習しないと成れないと思うんですね。その中で、2011年に優勝したときが21歳で最年少記録だったんですけど、まだ破ら

れていないので次は最年長記録も狙いたいですね。もちろんそれまでに優勝できれば、それはそれで良いですけど。初代チャンピオンが28歳で最年長記録を持っているので、29歳、30歳ぐらいでもう1回優勝することが今の目標です。

—— 最後に TOKURA さんの夢を教えてください。

T: フリースタイルフットボールが普及したり、有名になったりというのは、誰かが面白いと思わないと絶対にダメだと思うんです。誰かが初めて自分を見たときに、憧れてフリースタイルフットボールをはじめってくれるというパターンを自分が巻き起こせれば良いなと思います。とにかく、自分は自分に出来るだけフリースタイルフットボールをかっこよく見せたいですね。人口が爆発的に多ければいいというものではないので、フリースタイルフットボールというものをかっこいいカルチャーにしていきたいですね。

Let's make
Cool culture with us
in OKAYAMA !!



Profile

13歳の頃に「NIKE フリースタイルフットボール」という本に影響を受けてフリースタイルフットボールを始める。2012年イタリアで開催された「Red Bull Street Style World Final 2012」にて日本人として初めて優勝し、大きな話題となった。

2014年には日清カップヌードルのCM「サムライ in ブラジル」に出演。兜と甲冑を身にまといながらも、圧倒的なテクニックでサッカーボールを操る姿が大きな話題となる。

現在も、日本国内を中心に全国各地でパフォーマンス活動やレクチャー、クリニックなど精力的に活動している。

photography : 宗村 和磨 (NEMURA FILMS)

ボートレーサー

土屋 南

MINAMI TSUCHIYA

若干19歳の若きボートレーサー土屋選手。
デビュー後間もない彼女が、今考える
「ボートレーサー土屋南」の将来像とは。



――昨年11月22日にデビューをされた土屋さんなのですが、ボートレーサーを目指すようになったきっかけは何だったんでしょうか？

土屋南（以下、土）：私が3歳ぐらいの頃から父とよくジェットスキーをしていたんですけど、その頃からずっと父に『ボートレーサーにならないか』と言われていたんです。当時はまだボートレーサーが何かも分からなかったで、言われるがままに「なるよ!」と言っていたんですけど、中学や高校のときは、正直ボートレーサーになりたいとは思っていませんでした。でも昔からずっと父に言われていたということもあって、心のどこかに“ボートレーサー”というワードがずっと残っていて、高校を卒業するころに、家族とも話し合いをして、ボートレーサーの養成所である、やまと学校への試験を受けることになりました。

――ボートレーサーになるとは思っていなかった時期があった中で、ボートレーサーを目指すように気持ちの変化があったのはなぜだったんでしょうか？

土：高校生の時にハンドボールをやっていたんですけど、3年間を通じてスポーツに対してやりきった感情がいっぱいで、完全燃焼していたんです。でもその気持ちだけに自分自身が逃げていたんだなと思ったのが、ボートレーサーを目指したいという想いに変わってきたきっかけでした。

――その後、高校卒業後から半年後にやまと学校へ入学された土屋選手ですが、初めてボートに乗った時はどんなお気持ちでしたか？

土：とても楽しかったです!それは今でもずっと同じ気持ちですね。やっぱり恐怖心はあるんですけど、挑戦して、失敗して、さらに挑戦して、そこでやっと何ができた瞬間にすごく達成感を感じるんです。

――やまと学校在籍中に、これは誰よりもやりきったということはあるんですか？

土：誰よりも早く行って、最後に帰ったり、準備が一番に、片付けは誰よりも最後まで行うなどをずっとやっていたんです。2期先輩の藪内選手の特集を見させていただいたときに「起床動作を誰よりも早くする!」と書かれていて、こういうところからやっついこうと決めていました。

――やまと学校の在籍中にくじけそうになったことはなかったですか？

土：やめたいとまで思ったことはないんですけど、何度も何でここに自分はいるのかなと思った事がありました。でもそんなつらい時はいつも陰ながら家族が察してくれて、手紙や写真を送ってくれていたんです。それが本当に励みになっていました。

――やまと学校時代では、男女問わず同期の中でトップクラスの成績だった土屋選手なんですが、やっぱり負けたくない気持ちが強かったですか？

土：そうですね。女子は女子ってされるのが嫌で、男子にも絶対負けたくないという気持ちでした。だけど卒業レースは2位という結果で、すごく悔しかったですね。

――その後、2016年11月22日に「第119期生」としてデビューされた土屋選手ですが、プロから見たボートレーサーの魅力はどこに感じますか？

土：ボートレースの魅力は、男女が一緒に戦うところと、やっぱりその迫力ですね。私も高校生のときに父親に連れられて、生でピット離れの瞬間を見て、『かっこいい!』と思ったので、実際にライブで見ると、かっこよさや迫力を感じてもらえると思います。また、

ボートレーサーでいうと、やまと学校に入学した瞬間は、みんなが同じスタートラインに立っている状態で始まるので、自分の努力次第でどんどん上に行くことができ、ちゃんと結果もついてくるというところに魅力を感じます。

――ボートレーサーとして常に大切にしている事はありますか？

土：『礼と節』という言葉の通り、マナーや言動など、どこで誰に見られても、ボートレーサーの名を汚さないような行動をすることを大事にしています。

――土屋選手は今後の夢と、目指す選手像を教えてください。

土：結果としてはSG(※1)を獲りたいんですけど、選手としては男性女性と比べられず、対等に戦える選手

たいです。また、直近の今期の目標でいうと、まずはとにかくB1クラスに上がることでですね。

――最後に土屋選手の座右の銘は？

土屋：「縁を大事に恩を貫く」です。高校生のとき知った言葉なんですけど、様々な節目の中で、この言葉の大切さがどんどん自分の中に浸透してきました。これまで応援してくれる家族や先輩方との縁を大切に、今後は自分自身が成長することで、恩を貫いていきたいと思えます!

(※1) ボートレースにおいて最高位の大会の総称



Profile

岡山県出身 平成9年1月26日生
岡山支部 119期生
2016年11月22日
第32回日本モーターボート選手会会長杯でデビュー

岡山県立玉野光南高等学校出身、在学中はハンドボール部キャプテンで3年連続インターハイ出場、全国ベスト8の成績を残している。卒業後、ボートレーサーになるために福岡県にある選手養成所であるやまと学校に入学。1年に及ぶ訓練の集大成となる卒業レースでは同期生27人中、2位を記録した。(女性ではトップ)



—— シティライト硬式野球部に所属しながら、シティライトでの日々の業務も行われている丸山さんですが、現在はどんなお仕事をされているのでしょうか？

丸山高明（以下、丸）：
現在は展示車両のワックスがけなど、お客様にご購入いただく前の車の仕上作業を行っています。



—— 丸山さんはシティライトに入社されて二年目になりますが、最初はどんな想いで入社されたのでしょうか？

丸：最初は、他の会社で自分自身がしっかり勉強をして、シティライトに就職しようという想いがあったんですけど、大学時代の野球部の監督や、社長とよく話し合った上で、野球と仕事の両立を決め、シティライトに入社させていただきました。『二代目』として、将来的には自分が背負っていく会社でもあるので、会社をよりよくしていきたいという気持ちはずっと持ちながら、最初の一年は過ごしてきました。

—— 丸山さんは小学3年生から野球を始め、大学時代は亜細亜大学にて大学野球リーグで全国優勝されていますが、今でもプロ野球への夢は持たれていますか？

丸：正直、野球でやっていきたいという想いは高校の時から今でもずっと持っているんですけど、この夢も今年10月のドラフトまでが最後のチャンスだと思っています。なので、社長とも相談した上、今年いっぱいには野球に集中してやっていくことを決意しました。もちろんプロ野球選手になるという夢は自分自身の夢ではあるのですが、シティライトからプロ野球選手が輩出されたとなると、『シティライト』という名前が世の中に広がるチャンスにもなりますし、プロ野球選手になり、たくさんの人が見る場所で活躍することで、これまで支えてくださった皆様に少しでも恩返しをしたいという想いもあります。社長も、私には早く現場での仕事に集中させたい想いがあると思うのですが、今年いっぱいには私の夢を尊重して応援してくれています。



—— 丸山さんが、プロ野球選手を目指したきっかけは何だったのでしょうか？

丸：野球を始めてからずっと、プロ野球選手になりたいという夢はあったんですけど、あまり口には出さなくて、自分の中だけの夢にしていました。そんなときに、大学の監督から「プロ志望ですか？」と言われて、普段そんなことを言う監督ではなかったので最初は冗談だと思っていたんですけど、そんな監督にここまで言ってもらえたことが大きな後押しになり、もう一度本気でプロへの道を目指すようになりました。あの時の監督の言葉がなかったら、プロ野球選手は諦めていたかもしれないですね。

Profile

岡山県出身 平成5年9月30日生

小学校3年生からソフトボールを始め、中学では硬式クラブチーム「岡山メッツ」へ入団。高校では玉野光南高校へ進学し、2年夏に岡山大会準優勝、3年夏には8強入りを果たす。大学は亜細亜大学に進学し、名だたる大学、選手が集う東都大学リーグにて4年秋にスタメンで全国優勝を果たす。

03
interview

Rise!
OKAYAMA MOVE UP NEXTER

株式会社シティライト 丸山 高明

TAKA AKI MARUYAMA

時代代表というステージの傍ら、
プロ野球入団を目指し、
日々の仕事と野球を両立する丸山氏。
彼が今考える将来像とは。



—— これまでに野球を辞めたいと思ったことはあったのでしょうか？

丸：大学1年生のときに、とにかく先輩からも怒られ、監督からも怒られ、自分の時間もなく、なにもかも嫌になってしまった時期がありました。でも、ここで良い道と悪い道があるとしたら、大きな分岐点だなと思ったんです。自分が大学に進学することを決めたのに、ここで全てを辞めてしまったら、今後も様々な分岐点に立った時に悪い道を選んでしまう自分になってしまうなと思ったんです。そこからもう一度頑張ろうと決めました。当時、岡山から一緒にの大学に行っていた友人が一人いたんですけど、その友人からも最後まで一緒に頑張ろうという風に声をかけてもらって、その友人の言葉も大きかったです。なので今は、野球を続けていて本当に良かったと思っています。

—— 全国大会で優勝したときの気持ちは、どのようなものだったのでしょうか？



丸：優勝したときは、一人で泣きました。とにかく練習するという風にもコーチからも言われていて、約100人の部員がいて、自分が一番下手だと思っていたので、大学時代は誰よりも練習していた自信がありました。それが4年生の最後になって、全国大会でスタメン出場させてもらい、さらに優勝することができて、自分の努力が結果になり、本当に嬉しかったですね。

—— 野球と仕事を両立する中で日々大事にされていることは何でしょうか？

丸：仕事面では、社内外問わず、多くの人から常に見られているという意識を持ち、小さいことではあるんですけど、ゴミを拾ったり、誰よりも先に動いたりなど、新人の自分だからこその行動をコツコツと行うことを常に心掛けています。それは野球の面でも同じで、副キャプテンという立場をもらった今だからこそ、今まで以上に気を配ることで、自分の姿、背中を見せることを意識しています。野球を通じて培ったことがほとんどなのですが、数えきれないほどの小さなことの積み重ねが、人として、仕事でも野球でも大きな信頼に繋がることだと感じています。

—— シティライトの丸山高明として、挑戦したいことはありますか？

丸：関東までシティライトの名前を広げたいです。会社経営という面では、まだ見えていないことのほうが多いのですが、それを今の自分の立場から発信していくとなると、やっぱり野球の大会で優勝することでシティライトの名前を残すことですね。それが今後会社の未来に繋がる何かのきっかけになると思っているので、今は野球を通じて会社に貢献していきたいです。

—— 丸山さんの今後の夢を教えてください。

丸：個人の夢は、プロ野球選手になることです。もうひとつは、今のチームで日本一になることです。高い目標ではあるのですが、自分が大学時代に全国大会での優勝を経験させてもらったからこそ、実現できる夢だと思います。



OKAYAMA MOVE UP PRESENT'S

MOVE UP MUSIC

powered by



人生が「アがる」一曲を、あなたに。

vol.10 人気急上昇中!! 2017年注目のアーティスト

2017年にブレイクすること間違いなし!?

今年じゃなくとも確実にブレイクするであろうアーティストをPICKUP。

いち早くチェックしてあなたも早耳リスナーに!



Album Title

ジオラメインサイダー

Airtist

サイダーガール

Comment from TSUTAYA

おすすめは「オーバードライブ」。東京都内で活動中の炭酸系ロックバンド。今後飲料系のCMに起用されそう!!と感じる爽快感、疾走感がたまらない!現状レンタル解禁されていないので販売でお求めください!



Album Title

アンサーパレード

Airtist

sumika

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Lovers」。神奈川県川崎市出身の4人組バンド。思わず踊りだしたくなったり、ついホロリとなったり、笑顔になっていたり、そんないろいろが詰まった4thミニアルバム



Album Title

LSC

Airtist

ラブリーサマーちゃん

Comment from TSUTAYA

おすすめは「あなたは煙草 私はシャボン」。ポップス、インディーロック、シューゲイザー、ラップ、シティポップ、エレクトロなどあらゆる音楽を丸のみし異常な早さで成長していくアーティスト。



Album Title

thirsty

Airtist

おいしくメロンパン

Comment from TSUTAYA

おすすめは「色水」"RO69JACK 2016 for ROCK IN JAPAN FESTIVAL"で優勝を勝ち取った彼らのファーストミニアルバム。絶妙なアンサンブルは聴く人を魅了させること間違いなし。



Album Title

Wonder Rule

Airtist

リアクション ザ ブック

Comment from TSUTAYA

おすすめは「Wonder Rule」。ロッキング・オンが主催するアマチュア・アーティスト・コンテスト"RO69JACK 14/15"で優勝、全国流通盤となるミニ・アルバム。勢いに満ちた楽曲達を収録。



Album Title

We love Tank-top

Airtist

ヤバイTシャツ屋さん

Comment from TSUTAYA

おすすめは「あつまれ!パーティーピーポー」。「メロコア界の異端児」予想の斜め上をいく男女ツインボーカル3ピースバンドによるメジャーデビューアルバム! 驚愕のミュージック満載!



Album Title

Brian the Sun

Airtist

Brian the Sun

Comment from TSUTAYA

おすすめは「神曲」。08年に第1回「閃光ライオット」にて準グランプリを受賞した森良太(Vo&G)率いる4人組ロックバンド。ブライアン「今」を感じさせるスケール感のあるROCKでPOPで先鋭的な1枚!!



Album Title

Guess Who?

Airtist

Nulbarich

Comment from TSUTAYA

おすすめは「NEW ERA」。シーンに突如現れ、ケタ外れの才能&グルーブで業界関係者やリスナーを驚愕させた1stアルバム。日本人離れたグルーブとセンスは要チェック! Suchmos好きにもおすすめ



Album Title

kanki

Airtist

mol-74

Comment from TSUTAYA

おすすめは「%」。ヴォーカルの透明度の高い歌声に、アコギやピアノを織り交ぜて冷たくも暖かいサウンドスケープを描き出すバンド。アーティスト名はモルカルマイナスナナジュヨンと読みます。



Album Title

CIGARETTE&ALCOHOL

Airtist

LUCKY TAPES

Comment from TSUTAYA

おすすめは「レイディ・ブルース」。2016年大型フェスへの出演や映画『オオカミ少女と黒王子』への挿入歌提供など、話題沸騰の3ピース・バンド。透明感のある声が多岐にわたる心地良いです!

DREAM ARTIST

1stシングル「雨」発売中!
二度と繋げない君を想い続ける…もう叶わないとわかっていても。儂くも切ない極上のバラードソング。【価格】3曲入り ¥1000 (税込)
Ameba : <http://ameblo.jp/0912yosuke1225/>
facebook・Twitter・Instagram : 玉川洋輔で検索



Vol.15 RUNA

HUGPRO エンターテインメント所属

「小さな目標を立てて少しずつ歌手に近づけたらいいな」

on Starting Point — RUNA のはじまり —

「シンガーソングライターになりました」

玉川：RUNA ちゃんはライブや作詞作曲等しながらシンガーソングライターとして精力的に活動していますね。現在は小学校5年生。シンガーソングライターになったのはいつ頃ですか？

RUNA：シンガーソングライターになったのは2016年の7月ぐらいです。小さいころ、アイドルグループをしていて、そこからシンガーソングライターになりました。(シンガーソングライターとして)初めてライブに出たのは夏休みです。

玉川：キーボードで弾き語りをしてますが、楽器は習っていたんですか？

RUNA：4歳ぐらいからピアノを習っていました。クラシックピアノなんですけど。

玉川：一度イベントで一緒させてもらったことがあるんですが、パフォーマンス、本当にすごかった。僕も同じくキーボードの弾き語りをしているので、RUNA ちゃんと同じステージに立つのは緊張した

よ！(笑)

RUNAさんのスタッフ：玉川さんはライブ前にはどんなことに気を付けていますか？例えば、どんなものを食べたり飲んだりしているんでしょうか？

玉川：僕は基本、ライブ前はお水しか飲みません。人によってそれぞれあるみたいですけどね！蜂蜜ドリンクやミルクが良いとか、歌う前にかからあげなどの油ものを食べたほうが喉が潤って良いって言う人もいますよ！僕はどこか苦しくなるので、歌う前はあまり食べ物は食べないようにしています。

RUNA&RUNAさんのスタッフ：そうですね！

玉川：歌や楽器の練習はもちろんだけど、手洗い・うがいとか食生活とか、しっかり寝るとか、そういう身の回りのことをしっかりやっていくことも、ライブには大切なことですよ！

Make Dream Comes True — 夢に向かって —

「オリジナル曲を増やしていきたい」

玉川：今は音楽活動を頑張っている RUNA ちゃん。音楽の他に頑張っていることはありますか？

RUNA：……勉強を頑張っています。

玉川：将来はどんなふうになりたいと考えていますか？

RUNA：音楽をやりたいと思います。

玉川：それでは、夢を叶えるために頑張っていることはありますか？

RUNA：歌のレッスンやピアノの練習をしています。いっぱいいろいろなジャンルの曲を聞いて、オリジナル曲を増やしていきたいんです。今は2曲で、1曲は卒業の歌を作っています。2月には『HELLO 太陽』という曲がリリースされます。

玉川：リリースおめでとう！聞いてみますね！ちなみに曲作りはどうやってますか？例えば曲を先に作るか歌詞を先に書くとか。

RUNA：歌詞も曲もいっぺんに作ります。曲を書こうと思っていると最初は浮かばないんですけど、弾いているとこれいいじゃんってなる感じですね。

玉川：10代、20代、その時にしか書けないリアルな曲ってあると思うから、たくさん書いて聞かせてほしいです！最後に、RUNA ちゃんの夢を教えてください！

RUNA：なりたいものはいっぱいあるんです。この間、レコーディングをさせていただいたんですけど、その時にいろいろ調整してくれたPAさんにもなりたいなって思いました。そして、歌手になるには何が必要なんだろうっていう小さな目標を立ててやっていて、少しずつ歌手に近づけたらいいなって思っています。

玉川：負けられない！お互いに頑張っていきましょう。



RUNA (HUGPRO エンターテインメント所属) …4歳からピアノを始め、小学2～4年生まではアイドルグループのメインボーカルとして活動。2016年よりシンガーソングライターとして本格的に活動開始。2016年には活動拠点の岡山において数々のコンテストで入賞。2017年2月に初のシングル『HELLO 太陽』をリリースする。トヨタカラープレゼンツ国際音楽祭 審査員特別賞受賞。最新情報はQRコードでアクセス、もしくは公式サイト (<http://runa.hughug-web.com>) で。



撮影・@ryo_photography 衣装提供・着物浪漫

Dream Comes True!!



HUG PRO

アーティスト 大募集!!

HUGPROとは— (株)HUGHUGが運営する岡山のタレント事務所
全国的なアーティストとの共演やオリコンチャートランクイン実績のある
アイドルやアーティストが数多く所属しています。

あなたも岡山にいながら夢のステージに立ってみませんか?

MOVE UP ACTION !!

岡山の学生の方で岡山を元気に！

「岡山の学生の方で岡山を元気に！」していくために、スタートした学生アクション宣言。
 今回の学生アクション宣言は、岡山商科大学のみなさんにご協力いただき「岡山の学生の方で岡山を元気に！」するためのアクション宣言を書いていただきました！今後も、岡山県内の学生の方のみなさんからのアクション宣言を掲載していくので、是非チェックしてください!!



《JAPAN MOVE UP》 イベントスタッフとして 参加させていただきました！

11月24日、25日の二日間に渡り開催されたJAPAN MOVE UP ラジオ公開収録に学生チームからスタッフとして参加させていただきました！
 二日間で、たくさんの方にご来場していただき学生スタッフも貴重な経験をさせていただくことができました。2017年も、岡山を元気にしていくために、様々な活動に参加していきますので学生チームの活動も是非、チェックしてください!!



OKAYAMA MOVE UP学生チーム

OKAYAMA MOVE UP学生チームは、「岡山から日本を元気に！」をコンセプトに活動するOKAYAMA MOVE UPと連携し、「岡山の若者から岡山を元気に！」をコンセプトに岡山を盛り上げていくため、イベントスタッフや社会貢献活動などの活動を行っています！岡山の学生の方で、岡山をもっと元気にするために一緒に活動してみませんか？ご参加お待ちしております!!



岡山を一緒に盛り上げてくれる
 学生の皆さんをお待ちしています!!

《応募方法》

(1)お名前 (2)お住まい(市) (3)電話番号 (4)学校名/学部/回生

OKAYAMA MOVE UP公式Facebookメッセージまたは、OKAYAMA MOVE UP公式Twitterダイレクトメッセージより上記必要事項をご明記の上、お気軽にご応募ください。

※あくまでボランティア活動です。

※個人情報に関しては、活動以外の目的には一切使用いたしません。

※岡山県出身または在学中の大学生、短大生、専門学生の方のみとさせていただきます。

2017年初めてのDANCEの道。皆様本年もどうぞよろしくお願い致します。今年もどんな事が起きるのか自分でもワクワクしていますし、改めてまた一年で自分の目指すのはどんな夢が叶えられるのか？そして、その先にある笑顔にどれだけ出逢う事ができるのか？全ては自分次第ですが、集中して楽しみながら活動していきたいと思いますので皆様、温かく見守って頂けたら幸いです。

1月は、まず東京ドームで開催された「ふるさと祭り 東京 2017 -日本の祭り・故郷の味-」に始まり、そしてEXILE THE SECOND LIVE TOUR 2016-2017“WILD WILD WARRIORS”も福岡公演から始まりました。昨年に引き続き、全国のアリーナをWILD WILD WARRIORSたちは駆け抜けていきますし、ファンの皆様のおかげで、まだまだ進化していける可能性があるのでは？なんて事も思えるツアーになっております。

どんな活動でも可能性を広げる事は、新しい世界を見るチャンスだし、そこにはチャレンジが生まれます。一つでもたくさんの新しい扉を開きたいなんて思う今日この頃ですが...、先日さっそく新しい世界を観に宮古島に行ってきました。

皆さんは海の中の世界を観に行った事はありますか？

僕は、今までシュノーケルをつけて素潜りしたり、サーフィンなんかをして遊んでいた事

はありますが、今回はウェットスーツを着てタンクを背負って、たくさんの機材を装着して、海の中にお邪魔してきました。

まずはライセンスを取るための、筆記試験や実技講習などをするのですが、初めて海の中でレギュレーターという空気が出る機器をくわえて呼吸をした時は、何とも言えない感覚で不思議でした(笑)。少しずつ深くなるたびに不安が増して、空気の減る量も多くなり、身体にかかる圧力も大きくなっていくのですが、目の前に広がる世界は本当に美しく、言葉にするのが難しいくらいの光景でした。

海底のダイナミックな地形や、そこにある珊瑚と群がる魚たちに挨拶をすませて、呼吸を落ち着かせて身体を安定させるのに苦労しながらも、海底よりも少し浮いた所を漂っていると、自然の前で自分は本当にちっぽけな存在なんだと思わさせられます。上を見上げて水面を見るとぼんやりと太陽がゆらゆらしていて、宮古島の海底の10メートルも20メートルも下にまで、光と暖かさを届けていて、やはり海はとっても偉大な存在なんだと思いました。

しかし、なぜスキューバーのライセンスを取得しようとしているのかといいますと...。実は昨年からWOWOWさんがEXILE THE SECONDの密着をしてくださっていて、今までも6人みんなでいろんな話やリハーサルやステージの裏側を撮って、放送していただいていたのですが、今回はパフォーマーを一

人ひとり違った企画でフォーカスして撮っていただきました。その中で僕は、スキューバーダイビングのライセンスを取得して、海の中での水中DANCEや、その後、自分の感じたままに宮古島の素敵な場所でDANCEを踊らせて頂きました。

今年の自分の目標はインプットをメインに活動しようかと決めていたのですが、いきなり新しい世界をインプットできて、そこで見た事、感じた事を、素敵な島の音楽でDANCEができて、幸せな経験をする事ができました。

自然に感謝する事で、周りの人たちにも感謝できるようになる。

そんな事を想いながら踊らせて頂いたので、ぜひ皆様1月28日放送のWOWOWを観て頂けたらうれしいです。

2017年が始まったかと思えば、すぐに容赦なく進んでいきますが(笑)、時間は全ての人に与えられた平等で大切な物なので、しっかりと呼吸を整えて、濃ゆく密な時間にしていき、更に皆さんの笑顔と出会いたいと思っていますので、皆さん今年もどうぞよろしくお願い致します。

(TOKYO HEADLINE vol.683 2017.1.23 発行号より)



19歳よりダンスを始め、EXILE PROFESSIONAL GYMにてインストラクターを務める。2007年に、二代目 J Soul Brothersのメンバーに抜擢され、2009年2月25日に、アルバム『J Soul Brothers』でメジャーデビューを果たす。そして、同年3月1日にEXILE 新メンバーとして加入し、2011年には、THE SECOND from EXILE としても活動を始める。また、個人活動として2011年に月刊EXILEにて、自身が所長を務める『EXILEパフォーマンス研究所』の連載を開始する。2013年、眠りのyear 2013「ベストネムリスト」の受賞を果たす。2014年4月、淑徳大学文学部表現学科の客員教授に就任する。そして、2015年4月にEXILE USA が活動を行っているDANCE EARTH PARTYの正式メンバーに選ばれる。そのほか、役者としてドラマや舞台に出演するなど、さまざまな活動を展開し、エンターテインメントの可能性を広げている。

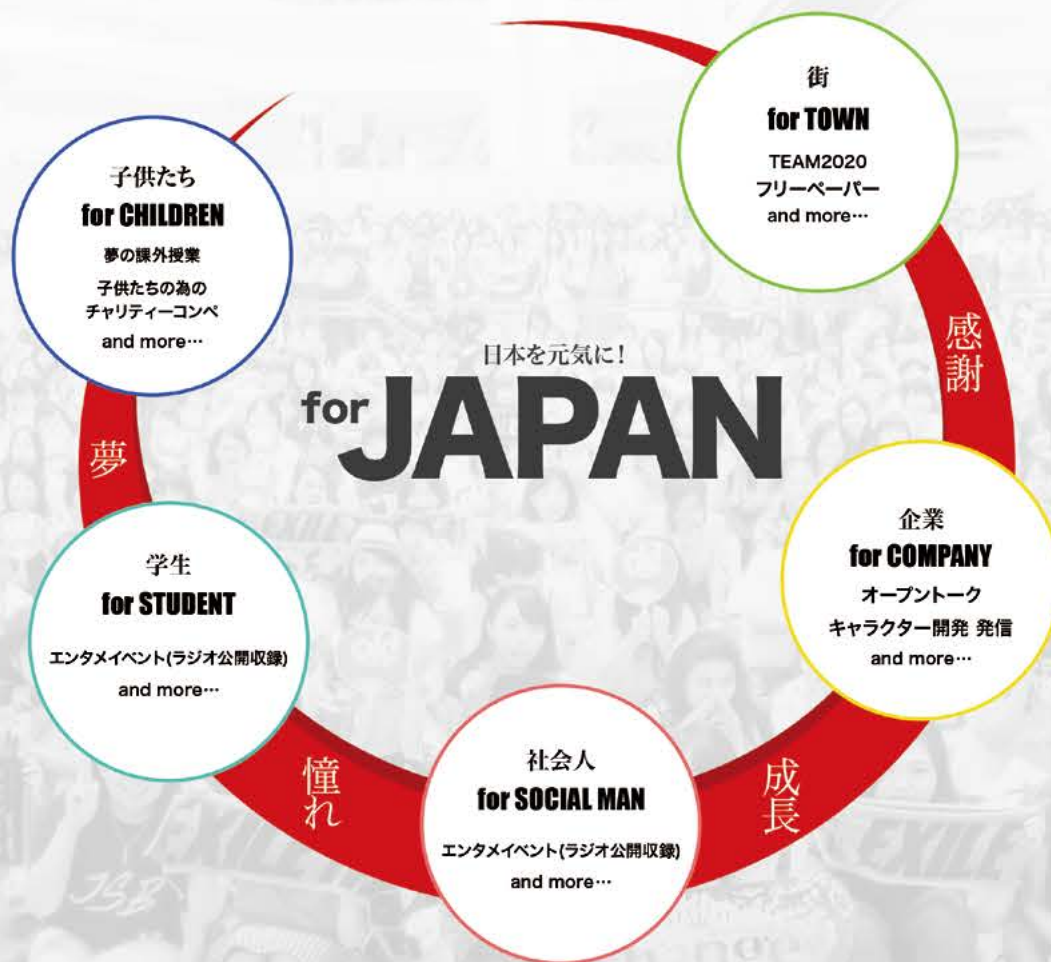
OKAYAMA MOVE UP

岡山から日本を元気に!

『岡山を元気に!』『岡山から日本を元気に!』をコンセプトに、フリーペーパーOKAYAMA MOVE UPの発行をはじめとし、各種イベントを実施するなどエンタテインメントを中心に岡山を盛り上げる活動を行っています。
この活動が意義あるものとして皆様方によりご賛同頂けるよう、「岡山県民が元気になる」「岡山県民が岡山を好きになる」「他府県の方々が岡山の良さを知ってもらう」事を目的としています。

「日本を元気にする為に、まずは岡山が元気になろう!」

その為に何が必要か?子供たちに「夢」を、若者に「憧れ」を、社会人に更なる「成長」を与え続ける...それが企業を街を発展させ、岡山を元気にしていく事だと確信します。
さらに TOKYO MOVE UP との連携による中央とのネットワークを生かしたコンテンツを創造し、若年層への「認知の拡大と巻き込み」を実現します。
また地方創生のモデルのひとつとして「社会的活動」と「エンタテインメント」、「スポーツ」の融合による岡山を元気にするプロジェクト、それが OKAYAMA MOVE UP です。



OKAYAMA MOVE UP実行委員会 加盟企業一覧 (2017年2月11日現在)



株式会社 株式会社DMM.com 有限会社ル・クルジャポン アシード株式会社

special partner **Coca-Cola West** **イオンモール岡山**

54 JAPAN MOVE UP WEST

OKAYAMA MOVE UP

隔月誌【オカヤマ ムーブアップ】 2017年2月11日発行 vol.24 FEBRUARY

- 発行人／源 眞典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
- 発行所／株式会社HEADLINE WEST
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
- 編集・製作／株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/VILピソン3 403号

